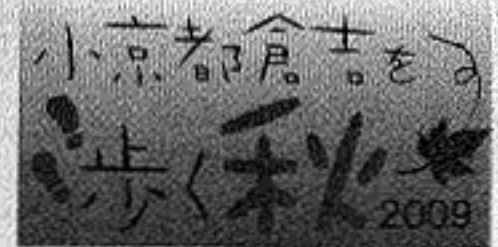


チェックポイントの木造住宅の前を歩く親子連れ=17日、倉吉市瀬崎町



秋の風情が深まる倉吉市で17日、魅力あるイベントで観光集客を図るキャンペーン「小京都・倉吉を歩く秋」が本格的にスタートするなど、さまざまな催しが繰り広げられた。町歩きを楽しむ「遙かなまち倉吉木の住まいウォーク」や、白壁土蔵群などを和紙で包んだ明かりで彩る「第4回山陰KAMIあかり」などが繰り広げられ、観光客らが情緒ある多彩なイベントを心ゆくまで満喫した。



幻想的な光を放つ和紙の照明=17日、倉吉市の白壁土蔵群

# 喫 満 情 風

## 木造の家並みにほっと

遙かなまちウォーク 古き良き姿を巡る

「第2回遥かなまち倉吉木の住まいウォーク」(NPO法人未来など主催、新日本海新聞社特別後援)が17日、倉吉市の白壁土蔵群周辺で行われ、親子連れら約250人が、木造住宅の良さに触れながら、古き良き倉吉の町並みを歩いた。子どもの「歩育」を推進する「子ども未来ウォーク」の一環で行われた。県木造住宅推進協議会とタイアップし、1760年建造の旧牧田家など、県産材を使用した木造住宅3カ所にチェックポイントを設定した。

参加者は打吹山を出発し、市内を巡りながら白壁土蔵群まで歩く5分と10分の2コースでウォーキングを楽しんだ。チェックポイントでは、瓦の特性や住宅用火災報知器の設置場所など、住宅に関するクイズに挑戦した。長女の理紗ちゃん(8)、次女の紗彩ちゃん(4)と一緒に歩いた岩家りゅう子さん(42)は「子どもとこんなに長い距離を歩くことは普段なく、初めて歩いた通りもあって楽しかったです」と話していた。

### 白壁土蔵群に光の芸術

山陰KAMIあかり

第4回山陰KAMIあかり(倉吉あかりネット、同実行委員会、新日本海新聞社など)後援が17日、白壁土蔵群一帯で行われた。公募で全国から寄せられた89点の和紙照明や和紙トンネル、白壁スクリーンアートなどが周辺には、幸せが宿ること

を願って福の神の像が置かれ、白熱電球がぼんやりと照らし、外側には、成徳小学校の児童の願いごとが書かれた短冊が張られていた。

昨年、願いながら通った参加者から恋愛が成就したと報告があった。幸福のトンネルとあって、今年も多くの観光客らが、幸せを願いながらくぐり抜けていた。

夕刻になると、土蔵の白壁と玉川沿いの歩道が、柔らかな光で包まれる中、高さ3メートルにもなる里見八犬伝をモチーフにしたオブジェや、白壁をスクリーンにした倉吉総合高や鳥取短大生による光のアートも披露され、幻想的な雰囲気盛り上げていた。